



# 栗東西中学校 家庭学習の手引き

これからの社会では、一人一人の生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにと考えられています。その社会で役立つ力をつけるために、普段の生活習慣や家庭での学習習慣を適切なものにしていくことが大切です。この家庭学習の手引きは、そのポイントを整理したものです。内容をよく理解して、自分の力を伸ばしましょう。

## 学びの基礎を広げよう



### ○自分の意見を伝えましょう。

現代は、情報を発信する力が、大切になっています。ですから、さまざまな機会を通じ自分の意見を正しく伝えることが要求されます。家庭でのおうちの人の会話で、自分の意見を整理し伝えることも良い練習になるので、たくさん会話をしてコミュニケーション力を高めましょう。

### ○本や新聞を読みましょう。

実際に体験することは、とても大切ですが、時間や環境に制限があります。直接体験できないことを補うには、本や新聞が適切です。(ネットの文章には、無責任なものも見られるので注意しましょう。)  
「正しく読む」習慣を身につけましょう。

### ○学習施設を利用しましょう。

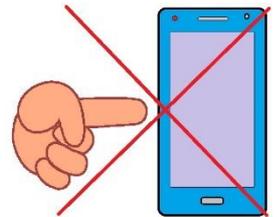
滋賀県や栗東市の学習施設では、さまざまな学習の機会を設けています。普段の生活や学校の授業では、ふれられない貴重な体験や、豊富な資料で得られるものは、学習の基礎として多くの学びを支えます。県や市の施設案内をよく読んで、積極的に利用しましょう。

## 学びの姿勢をつくろう



### ○自分の目標を持ちましょう。

学びは、何のためにするのでしょうか。これから先、皆さんが意欲的に学習するためにも、「将来、〇〇ができるようになりたい。」という目標があれば、「そのために学ぶ」と意識がはっきりします。ただし、社会は、学校の教科で分けられるものではありません。「この教科はいらない。」というものはありません。



### ○学習環境を整えましょう。

学習環境は、道具や参考書を揃えるよりも集中できる環境にしておくことが大切です。テレビやパソコン、タブレット、スマートフォンなどの情報機器は、上手に使用すればとても便利なものですが、必要な時以外は、「手元に置かない」、「電源オフ」にするなど、学習に集中できる環境を作りましょう。

### ○学習時間を決めましょう。

家庭学習は、毎日の習慣です。何時～何時は、学習の時間と決めて、それが「当たり前」になることが必要です。その日ごとに予定を変えていると、どんどんやらなくなってしまいます。学んだ量は、「学習時間×集中度」です。集中できる時間を確保しましょう。

## 自分の学びをのばそう



### ○宿題や課題は早めにしましょう。

中学校では、定期テストあたりに宿題や課題の提出が集中する傾向があります。提出期限が、少し先だからといって、後回しにすると、期限直前に「とりあえず、やって提出」ということになります。本来、宿題や課題は、じっくり考えて取り組むために設定しているものも多いので、まずは集中して授業に臨みましょう。また、宿題や課題が出されたら、出されたその日から取りかかるような習慣を身に付けましょう。



### ○予習・復習をバランス良く行いましょう。

授業中、困らないように、それまでに調べておく内容(英単語の意味など)を予習することは、重要です。ただ、復習も大切です。人間は、どんどん忘れる生物です。でも、すぐに忘れては、学習が深まりません。習ったことをその日のうちに、もう一度確認し直すことで、学んだことが消えにくくなります。復習にも、毎日取り組みましょう。

### ○実際に書きましょう。

情報機器(スマホ、携帯、PC、タブレットなど)の進歩によって、文字を入力する機会は、増えていますが、実際に鉛筆やペンで文章を書くことも大切です。特に、自分の考えをきちんと書き表せる力をつけるためにも、普段からの家庭学習で繰り返し取り組むようにしましょう。

### ○漢字・単語などは、正確に覚えましょう。

情報機器への入力では、難しい漢字もすぐに変換してくれます。でも、実際に自分で書く時に「なんとなく覚えている」では、なかなか書けません。繰り返し練習することで、正確な記述ができるように心がけましょう。